

はぐくみ

平成 27 年 12 月 7 日発行 No.74

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

「確かな学力」向上にむけて！「学力向上の集い」の開催

11月5日（木）に笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館において、峡東地区の保護者 136 名、一般の方々 3 名、教職員 130 名、来賓・関係者 20 名の合計 289 名の参加をいただき、平成 27 年度学力向上推進事業「学力向上の集い」（峡東地区）を開催しました。



集いでは、山梨大学大学院教育学研究科教授 中村享史さんによる、「求められる学力」～学校・家庭が連携して育むには～と題した講演と、それに引き続き、義務教育課主幹指導主事 齊藤功さんをコーディネーターに、保護者の立場から県 PTA 協議会会長 三井久美子さん、授業改善プラン推進校の研究主任として塩山南小の小椋規雄さん、春日居中の嶋田拓郎さんと講師の中村教授をパネラ

ーとしたパネルディスカッションを行いました。講演会とディスカッションでは、全国学力調査の問題などの具体的な例をとりあげながら、

- ・これからの時代を生きていくために必要な力（学力）について
- ・学力・学習状況調査（特に小算 B）から見えてきた課題
- ・学校での学習、家庭学習でどのようにして学力を育むことが必要か
- ・授業改善 P 推進校の取組
- ・保護者の意見

等の内容で、講演・ディスカッションが行われました。

参加された方々からは、終了後のアンケートに以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 現在問われている(求められている)「学力」の意味を理解することができた。
- 中学でも「家庭学習の手引」等で、学習するための手立てを考えてくれていることが分かり、安心した。
- 学力を見つめ直すよい機会となった。
- 学校と家庭が連携していく事の大切さは、親が「学ぶ」姿勢を見せることが大切であることを、学校側も保護者に強く伝えていくことも重要であると感じた。
- 学校と家庭で同じ方向を見て子ども(児童・生徒)に接する事が大切で、今回の集いは大変有意義であった。
- 家庭学習は教科の勉強ばかりでなく、親子でコミュニケーションをとることに活用できる学習を学校でも考えてほしい。
- 子どもの学習意欲を持たせることを家庭でも考えていきたい。
- 家庭学習について、小学校に比べ中学校は部活動や塾等で、家庭での学習時間の確保が難しい。親として結果だけを見てしまうが、子ども自身が必要と思えるような支援をしていきたいと思った。
- 子どもの個性に応じた対応が必要であることが分かった。
- 大人が子どものモデルであることの重要性を理解することができた。
- 子どもたちの将来を見すえ、学ぼうとする気持ちを大切にしていきたい。
- 「問うこと」「聴くこと」「待つこと」の大切さを理解できた。
- 「子どもの話を聞く機が熟すまで待つ」、という言葉に強く共感した。
- 親として、「待つ」ということの勇気も大切であることを理解できた。
- 求められる学力で、「何を教えるかだけでなく、何を問うか。」という事が重要であることを理解することができた。
- 学び続ける子どもに育てるために、「あたりまえ」で片づけず、子どもに寄り添って「問い続ける」環境を作りたいと思う。
- 疑問を持たせることの大切さを理解することができた。
- 子どもの夢を実現させるための家族のサポート、学校での追究力・探究力の育成の重要性を理解することができた。
- 家庭と学校との連携は、その学校、担任教師で変わらと思う。
- 先生方も、学力向上に向けて一生懸命に取り組んでいてくれることが分かり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

講演会、パネルディスカッションを通して、学校と家庭の連携（本質的な）の重要性、子どもが他者（大人、友人）を通して自己を認識していく過程の重要性など、多くのことを再確認できたと思います。今後の学力向上に向けた様々な対策に活かしていただけたらと思います。

◆◆十年経験者研修◆◆

11月10日(火)、八幡小学校において「十年経験者研修教科指導研修会」が開かれました。

管内14名の研修者の中から、八幡小学校の日野原和貴教諭が5年生の算数の授業を提供してくれました。活用問題における学習課題のとらえさせ方、課題解決に向けての児童の既習内容を確認しての見通し、思考過程を可視化しての問題解決等を中心に授業分析を行い、互いに今後の授業実践にいかすための研究協議を行いました。

また、経験を積んでいくと、自己中心的な考え方になりがちであることから、常に謙虚な気持ちで指導することなど、10年をひとつの節目として、大切な部分を確認することができました。



◆◆初任者研修授業研修実習校研修会◆◆



【日下部小での師範授業
(上段：学活、下段：道徳)】

平成27年度初任者研修授業研修実習校研修会は、5月29日(金)に小学校対象者14名は日下部小学校、中学校対象者10名は御坂中学校において開講しました。峡東地区では、小・中それぞれの学校において5回の研修会が開催され、11月27日(金)に中学校、12月4日(金)に小学校が開講式を迎えました。

この間、日下部小学校・御坂中学校において、師範授業(下表)の提供・研究会の開催等、大変充実した研修会を開催していただくことができました。鈴木日下部小校長、古屋御坂中校長をはじめ、両校の先生方の御協力により、実り多い初任者研修とすることができました。改めて感謝いたします。24名の初任者の先生方は、この研修を通して、教育者としての使命感と実践的指導力を養うとともに、幅広い知見を得ることができたと思います。各校での授業・教育活動の実践に活かし、更に向上していくことを期待いたします。



【御坂中での師範授業
(上段：道徳、下段：数学)】

日下部小学校会場		御坂中学校会場	
師範授業者	教科等	師範授業者	教科等
川崎 剛 教諭	4年：国語	内藤 寛公 教諭	1年：数学
佐野 理恵 教諭	3年：学級活動	水野 徳仁 教諭	2年：社会
山宮 由紀 教諭	2年：道徳	望月由美子 教諭	3年：英語
保坂 洋仁 教諭	6年：算数	森田 喜子 教諭	3年：道徳
		内田 拓也 教諭	1年：理科

◆◆指導主事学校訪問要請◆◆

月・日	学校名	形態	教科	研究主題
12月2日	岩手小	研究授業	国語	「子どもが自ら学び、表現し、考える力を高める指導法の工夫」
12月2日	後屋敷小	研究授業	算数	思考力・判断力・表現力の育成
12月2日	牧丘第一小	研究授業	算数	「学び合い、考えを深め、高め合う子どもの育成」
12月2日	塩山中	研究授業	社会	「心豊かに、生きる力をはぐくむ教育の研究」
12月9日	境川小	研究授業	算数	『自ら考え、学び合う児童の育成』
12月9日	松里中	研究授業	国語	生きる力を育成する教育の創造
12月9日	大藤小	研究授業	社会	「自ら考え、課題を解決できる児童の育成」